

研究発表もうしこみフォーム

氏名：児玉香菜子

氏名のローマ字表記：Kanao Kodama

所属：千葉大学

専門分野：文化人類学

発表のタイトル：オーラルヒストリーからみるモンゴル牧畜民女性の大都市進出過程とその背景

発表要旨（600字～800字程度）：

本研究の目的は中国社会主義集団経済と社会主義市場経済化を経験してきたモンゴル牧畜民女性の大都市への進出過程を、オーラルヒストリーにより具体的に明らかにすることである。とくにその背景と生活変化に着目する。

オーラルヒストリーの対象は主に牧畜地域からフフホト市、北京市といった大都市に生活拠点を移した60代以上のモンゴル人女性たちである。具体的な職歴は政府機関や自治体公務員、教職員、研究者、民族企業労働者、自営業である。

都市進出者の内訳は実に多様であるが、その背景には大きく都市居住男性との結婚、第1次産業に対する否定と大都市への憧れ、自身の進学および就職がある。都市男性との結婚の背景には都市男性の地方への転勤や下放など1950年代後半からの政治運動という時代性が高い。田舎が嫌で大都市にあこがれた女性はすでに大都市に居住している親戚を頼り、民族企業に就職した。自身による進学、就職も少なくない。これら大都市への進学および就職を可能にしたのは、牧畜地域でおこなわれた「馬背学校」などを通じた教育の普及であった。教育の普及は婚姻による女性の都市進出においても、大都市での就職を可能にしている。全体として都市進出は中国の戸籍制度とのかかわりからも積極的評価がなされていた。他方で、現在と異なり、当時は交通手段及び通信手段が劣悪で、結婚、進学や就職などによる大都市への移住は生活および家族関係に大きな変化をもたらすものであった。とりわけ、出産育児においては地方に暮らす家族の支援を受けるよりは、同僚など同じ都市居住者によるサポートや保育園などの公的施設が大きな役割を果たしていた。

(687字)